

No.	該当 ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の 有無	流山市一般廃棄物処理基本計画 修正案
1	資-101	一般廃棄物処理基本計画(案) 資料7. ごみ発生量等の予測方法・予測結果 (2) 人口の予測結果 推計表1 将来人口の推計結果	<p>本計画は以下の流山市人口予測値を基に策定されています。</p> <p>しかしながら、2025 年9 月1 日時点での流山市人口は214,704 人（流山市ホームページより）となっており、既に計画値を上回っています。このため、本当に令和9 年（2027年）をピークに人口が減少に転じるのか、疑問を感じます。</p> <p>計画における人口予測値は以下の通りです。</p> <p>R7 （2025 ） 213,116 人 R9 （2027 ） 214,627 人 R12（2030 ） 213,134 人 R17（2035 ） 210,728 人</p> <p>一方、国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（令和5年推計）によれば、流山市の人口は令和32年（2050年）まで増加すると予測されています。</p> <p>R7 （2025 ） 217,368 人 R12（2030 ） 225,466 人 R17（2035 ） 232,030 人 R22（2040 ） 236,575 人 R27（2045 ） 239,504 人 R32（2050 ） 241,539 人</p> <p>人口増加自体は自治体にとって望ましい事と思いますが、行政サービスを今後も十分に維持できるのか懸念しています。</p>	<p>流山市の人口の予測については、令和5（2023）年度までの実績値をもとに、流山市総合計画（令和2（2020）年3月）の将来人口推計－中位推計の比率に当てはめることで令和6（2024）年度から令和12（2030）年度までの推計値を算出しました。</p> <p>この流山市総合計画は、総合的かつ計画的な市政経営を進めるための本市の最上位計画であり、この計画によると人口のピークを令和9年度としていることから、当該計画（案）においても同様としているものであります。</p> <p>また、令和12（2030）年度以降の推計値に関しては、流山市総合計画でも定められていないため、令和12（2030）年度までの減少率をもとに令和12（2030）年度から令和17（2035）年度の推計値として将来人口を予測しております。</p> <p>国立社会保障・人口問題研究所による人口推計につきましては、令和32年（2050年）まで増加すると予測されており、本市の人口推計には乖離がありますが、一般廃棄物処理基本計画は国の指針により10年から15年を計画期間とすることが適切とされており、それ以上先の廃棄物行政に関わる計画や各種施策については、社会情勢の変化を鑑み、将来適切に実施していくこととなります。</p> <p>廃棄物に関する行政サービスの維持・向上につきましては、本市の人口は令和4年度までは毎年度5,000人程度の増加、それ以降2,000人程度と緩やかな増加傾向にありながらも、現在実施している施策が、市民の協力のもと、ごみ発生量の減量及び資源化率の向上が図られており、「人口が増加してもごみを増やさない」という基本的な考え方に基づき、今後も十分に対応可能です。</p> <p>なお、本市では、今後次期流山市総合計画の策定に当たり、令和9（2027）年度から令和10（2028）年度を目途に、人口推計を行う予定であり、本計画についても令和12（2030）年度を中間目標年度として計画の見直しを予定しています。</p>	無	